

よろこび

日蓮宗 願聖会
本山 妙願寺
長音山 本要寺

『よろこび』11 貫首 齊藤 日軌

「大脳辺縁系(だいのうへんえんけい)」には、タツノオトシゴのような形をし「海馬(かいば)」と言われる部分があります。

日常的な出来事や、勉強して覚えた情報は、海馬で整理され、その後、大脳皮質にためられていくといわれています。

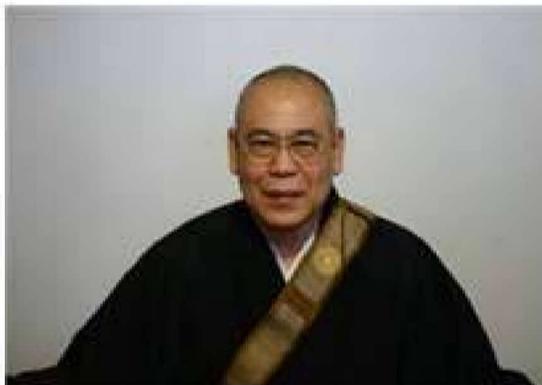
すなわち私たちの「新しい記憶」は海馬に、「古い記憶」は大脳皮質に記憶されます。

海馬が故障すると私たちは新しいことが覚えられなくなり、つまり、昔のことは覚えていても、新しいこととはすぐに忘れてしまいます。

心当たりのある方も多いと思います。海馬はとても壊れやすく、とても強いストレスにさらされたときにも、海馬は壊れてしまいます。健康で生活するには、海馬を守る事が大切です。それには笑うことが一番です。癌の患者さんが、映画の喜劇などを見続け笑うことによって、

その癌が治ったと言うお話聞いたことありませんか。

精神科のあるお医者さんは、健康に笑うこと、海馬を守ることが大事とおっしゃっているそうです。南無妙法蓮華経を唱えよう。CD『感謝百万遍陀羅尼』を聞いて、歌って、笑いまし



みおしえ

一大秘法の妙法蓮華経は、鉱物、植物、動物、人間、大宇宙の全ての生き物が総和して一大生命体を形成したものです。個々の生命体である私達一人が、この一大生命に帰る祈りが『本門題目』である南無妙法蓮華経です。この万象万物の一大生命の構造とシステムを文字で表されたのが大曼荼羅ご本尊『本門の本尊』です。さらにこの本尊を立体模型にすると『本門の戒壇』となります。この本尊は理想の世界を二次元平面に現したもので、戒壇は三次元立体模型に現したものです。日蓮大聖人は、妙法蓮華経の平和なよろこびの世界を曼陀羅、戒壇を以て表現されたのです。ところが、現実の私達の世界は、どうでしょう、テロや戦争に明け暮れ、大気はスモッグや放射能で汚染され、平和な楽土とはいえません。この世界をよろこびの世界に変えるには南無妙法蓮華経と唱え、仏様の願いを自分の願い(本門の本尊)とし、仏様の振るまい(本門の戒壇)を自らの振る舞いとする事です。

心の言葉

南無妙法蓮華経と唱え、
仏の心を心として、よろこ
びの世界を創りましょう

